

備前市事務事業評価表

事務事業名	商業団体支援事業		コード	04-02-02-03
			担当課・係	商工観光課 商工労政係
			担当者	山台 智子
事業実施期間	S46~		電話	0869-64-1832
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	起業と創造を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	商業（商店の体質の強化）		

事業について	
目的 (何のために)	市内商業団体等を支援することにより、商工団体・事業者の発展・育成を図る。
対象 (誰・何を対象に)	商業団体及び事業者
内容	商工会議所、商工会等商業団体への運営補助、事業補助を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助団体数	5 団体	3 団体	
商工団体会員数	1,780 所	1,715 所	
経営指導員指導件数	5,670 回	6,213 回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	32,994	国庫補助金等		直接事業費	31,195	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,491	受益者負担		人件費	2,093	受益者負担		人件費		受益者負担	
合計	35,485	市債	35,485	合計	33,288	市債	33,288	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.30 人	0.22 人		
結果指標①	結果指標名	商工団体会員数	商工団体会員数	
	結果指標量	1,780	1,715	
	単位	所	所	
	対前年比	-	96.35%	0.00%
結果指標②	活動にかかるコスト	35,485,000 円	33,288,000 円	
	単位当たりコスト①	19,935 円	19,410 円	
	結果指標名	経営指導員指導件数	経営指導員指導件数	
	結果指標量	5,670 回	6,213 回	
	対前年比	-	109.58%	0.00%
	活動にかかるコスト	35,485,000 円	33,288,000 円	
	単位当たりコスト②	6,258 円	5,358 円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	経営指導員の指導を活発にすることにより、事業者の発展、育成を図る。
成果指標名	経営指導員指導件数
式又は説明	商工団体が実施した経営相談員による指導件数
成果指標量	17年度 5,670
	18年度 6,213
対前年比	-
	109.58%
到達目標値	6,000 (回)
到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等:]	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市内商業団体を支援することにより、商工団体・事業者の発展・育成を図ることは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	これまでコスト削減に努力してきたが、今後も引き続き経費節減を推し進め、効率化を図る。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効な事業の補助であり、継続的に支援していくことが必要である。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 平成18年度には3商工会の合併により補助団体の形態が大きく変革を遂げた。今年度も商工会議所、商工会への支援を積極的に行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 1,750 (所)	結果指標量② 6,500 (回)
	成果指標量	6,500 (回)

総合評価	商業団体の活動により、市の商業振興につながっており、今後も継続的かつ効率的に支援していくことが必要である。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------

平成20年度以降の方向性		平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	補助金の見直し	随時	経費節減